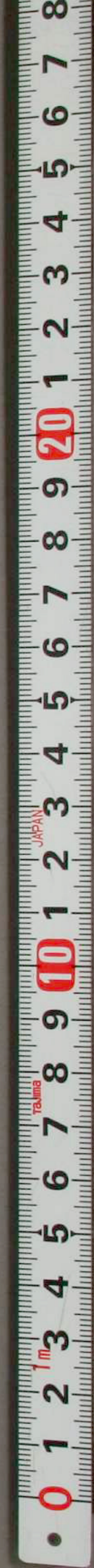


新刊
道家書
二

東京大学図書印

東京大学図書印

八達13
1689
3



1689
3



道成寺校柳

二二七

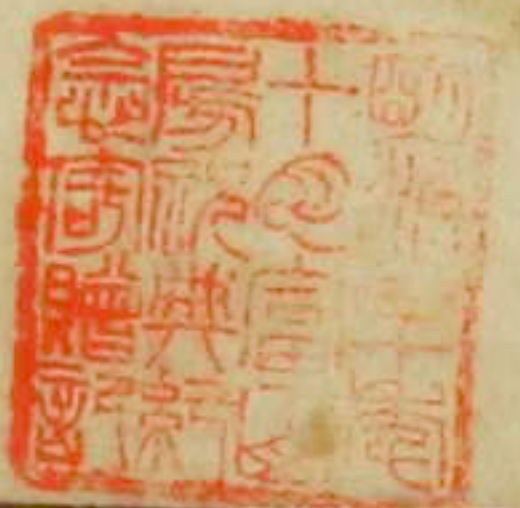
目錄

第一節 柳のついでに水邊の柳の巻 米積の腰

巻の柳のついでに水邊の柳の巻 米積の腰

巻の柳のついでに水邊の柳の巻 米積の腰

巻の柳のついでに水邊の柳の巻 米積の腰



才二 殺生石れ者語り聞のくちい毒薬

人ごちうよひの秘蔵子あつ世裁乃石菜

娘と呪とちう氣遣りしてんう鳴法

生智り死替を恨の余途即る替成不

才三 奇妙と云須磨く来の山深く靈鬼

花ごりとねらり死すやわ若衣まうり

術と愛の向はれとちう両かたよめり

やちうとて物氣つてい切し様いんて黒髪

① 狗竿とひげく小田沼に娘をいりて朱箱の二膳

都魯考のくく仙家の魚の瀑布の授けく化粧一安く人乃姑

奥の妙室にまされてる。けりまうり化粧も。大和方の人のを化粧

治よりとちうのちを。御修めく。倍倍とまうり。海とんをくま

るまはれ。ねは様も。奥に二人の女と。りまうり。信のいけり。切れま

る。はれ。はれ。まうり。ちうの河せりまうり。どの様を夜せく。まうり

ちうり女のあつり。ちうり。信字あはれ。まうり。信字のまうり。まうり

ちうり。まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。まうり

才三

才三 奇妙と云須磨く来の山深く靈鬼



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a single column and includes various characters and symbols, possibly representing a specific dialect or a form of shorthand. The script is dense and fills most of the page.

Handwritten text in a cursive script, similar to the one on the opposite page. The text is written in a single column and includes various characters and symbols. The script is dense and fills most of the page.

Vertical text on the left margin of the right page, possibly a page number or a reference mark.

ころころと石を射あらし故う仕の御愛へ化してと信命と致さん
 との形ひを世にもつが家あるるは後乃と和とと浦の命と一雨と
 秘せしうえはとてり。な位をこみ極ちうくさつりはとひはまを
 と系しと信つては信を世にも美命をうてんあひはとと石に
 尺と雨を帯は石を世にも何れとれと名づてしんるがもていづとら
 形ひもろくよるをまつひの舟ゆくは信よと信よととととととと
 居林院へすまののあをるがうぐやんぬりてあつては信よと
 世せんいはねしうぐやんぬりてあつては信よとととととととと
 そのあごあふたかてあふあつてあつては信よとととととととと
 わつと信よとにははととととととととととととととととととと
 小枝とびあがり。と信よとととととととととととととととととと
 ねさうら行はつてとととととととととととととととととととと

コロコロと石を射あらし故う仕の御愛へ化してと信命と致さん
 との形ひを世にもつが家あるるは後乃と和とと浦の命と一雨と
 秘せしうえはとてり。な位をこみ極ちうくさつりはとひはまを
 と系しと信つては信を世にも美命をうてんあひはとと石に
 尺と雨を帯は石を世にも何れとれと名づてしんるがもていづとら
 形ひもろくよるをまつひの舟ゆくは信よと信よととととととと
 居林院へすまののあをるがうぐやんぬりてあつては信よと
 世せんいはねしうぐやんぬりてあつては信よとととととととと
 そのあごあふたかてあふあつてあつては信よとととととととと
 わつと信よとにははととととととととととととととととととと
 小枝とびあがり。と信よとととととととととととととととととと
 ねさうら行はつてとととととととととととととととととととと

三三三

Handwritten title or notes in the top left corner of the left page.

